

(資料 4)

■雌阿寒岳・オンネトー地区概要

○地域特徴

- ・環境省 阿寒摩周国立公園（国立公園満喫プロジェクト選定 8 公園の一つ）
- ・林野庁 森林レクリエーションの森（自然休養林）
- ・文化庁 天然記念物 オンネトー湯の滝（マンガン生成現象）

○施設

- ・民間 温泉宿泊施設（最盛期 4 軒⇒現在 1 件）
- ・国 林野庁 オンネトー国設野営場、湯の滝バイオトイレ
- ・北海道 道道 オンネトー線、モラワン原野ラワン停車場線（改良計画あり）
オンネトー展望デッキ（R2 年度改修）、
オンネトー湯の滝ミニビジターセンター（休憩所、解説パネル改修予定）
- ・足寄町 新休憩舎（R2.R3 建設中、R4 供用予定）
旧オンネトー茶屋（取壊し予定）、野営場給水施設
雌阿寒温泉駐車場及びトイレ、給水施設、温泉ばっ気施設

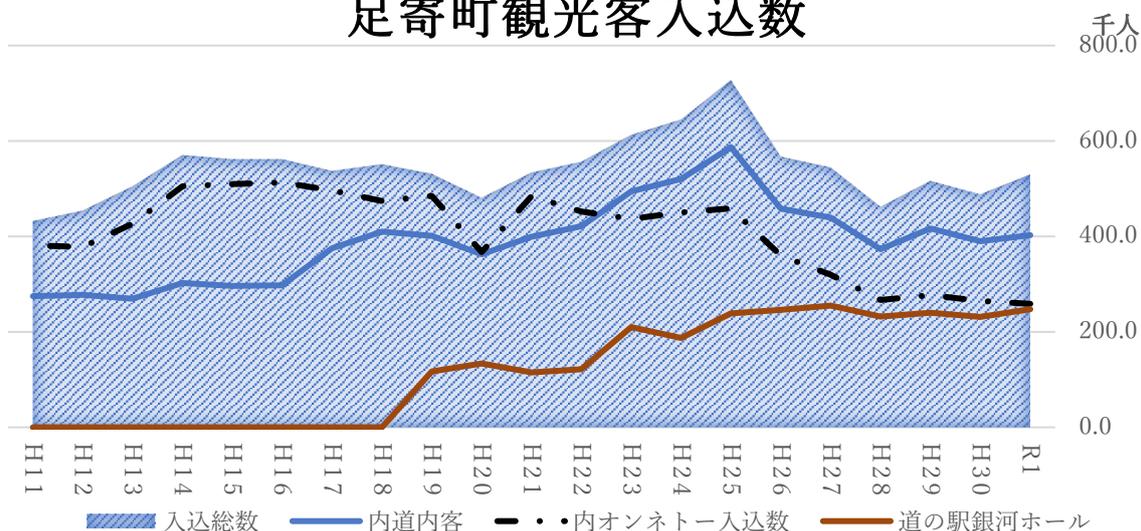
○観光入込動向

平成 10 年代～20 年代前半にかけて、大型観光バスによる団体客が多かったが、個人での旅行へ移行している。過去には団体旅行で大型バスにて来場、展望デッキで写真を撮影して去っていく方が大半だったが、近年はハイシーズンの紅葉時期であっても大型バスは日に数台で、ほとんどがレンタカーなど自家用車で訪れており、時間の制約がなくなったことから、昼を主とした訪問時に移行し、滞在時間も延長している。

雌阿寒岳は、日本百名山の一つとして、全国的に人気の山で、登山シーズンの 7 月～9 月は、自家用車の利用が増えたため雌阿寒温泉駐車場の収容台数を超えることが、近年課題となっている。

オンネトー周辺の遊歩道は、十勝東部森林管理署が施行管理をしているが、登山道は執行者不在のため、足寄町と足寄観光協会等が共同で年 1 回の登山道整備を行っている。登山道は、特別保護地区、第 1 種特別地域で事業執行者不在のため地元で整備。

足寄町観光客入込数



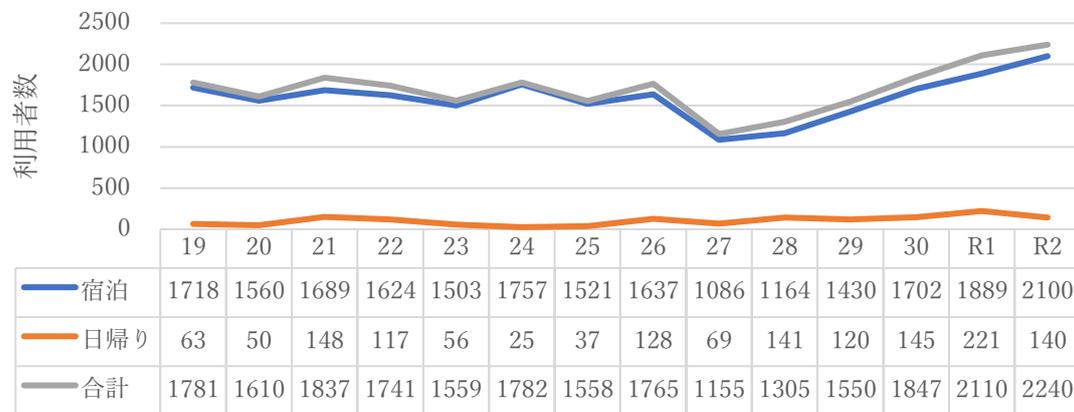
■ オンネトー国設野営場概要

- ・設置者 林野庁 十勝東部森林管理署
- ・管理者 足寄町 経済課商工観光振興室（管理署より無償管理委託契約）
- ・委託先 NPO あしよろ観光協会（足寄町より有償管理委託）
- ・オープン期間 6月～10月（ゴールデンウィークは残雪あり、11月は凍結）
- ・利用料（R2年度現在、森林管理署との協議にて料金決定、料金改定可）

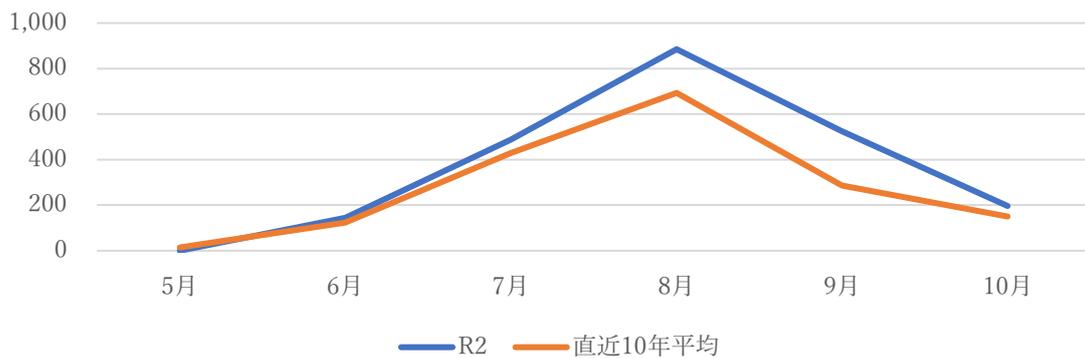
区分	宿泊	日帰り
大人	350円	80円
子供（小中学生）	200円	50円

- ・利用者数

オンネトー野営場 年別入込数



オンネトー国設野営場 月別入込数

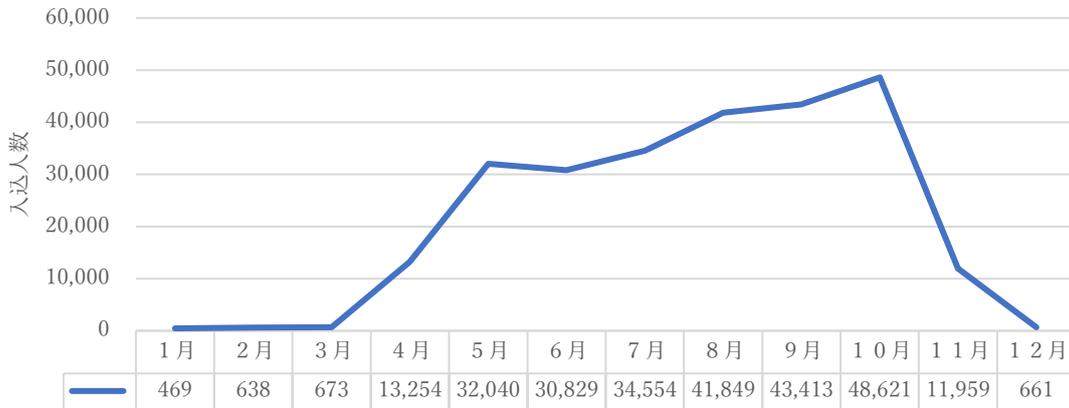


※足寄町 オンネトー国設野営場利用受付簿より

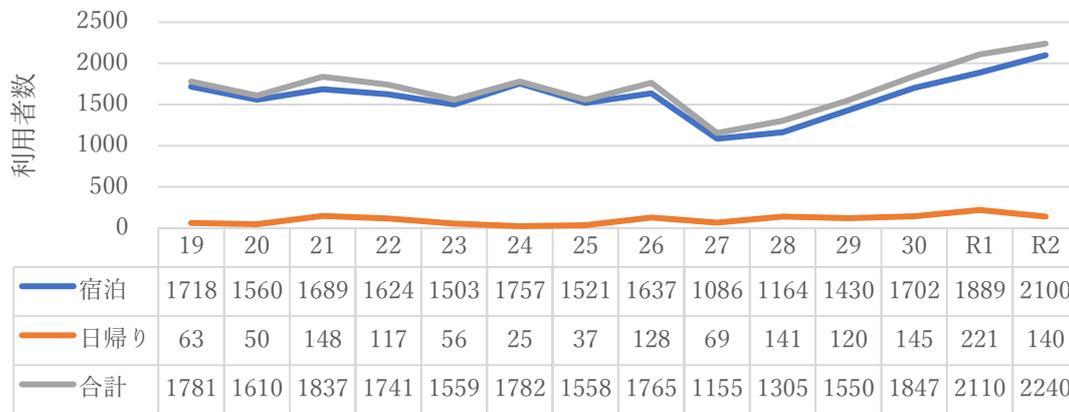
- ・留意点（リスク）
 - ・標高が高く（650m）夏場でも気温が低い
 - ・野生動物（キツネとカラスの被害が多い、クマはほぼ出ない）
 - ・噴火が起きると山頂周辺が閉鎖され登山客が減少する。

■参考

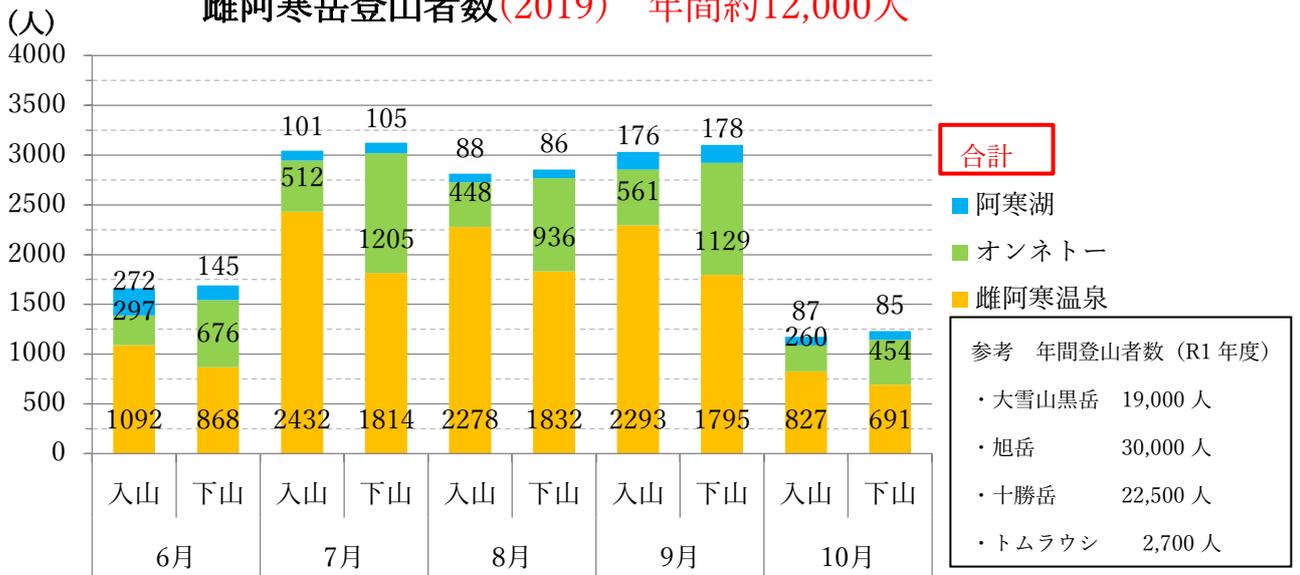
雌阿寒オンネトー地区月別入込数 (R1年度年間26万人)



オンネトー野営場 年別入込数 R2年度2,240人



雌阿寒岳登山者数(2019) 年間約12,000人



	登山口	6月	7月	8月	9月	10月	合計
入山	合計	1,661	3,045	2,814	3,030	1,174	11,724
下山	合計	1,689	3,124	2,854	3,102	1,230	11,999

※環境省阿寒湖管理官事務所より 2019 登山口下山先が異なる場合、入下山数合わず↑